

日语学习

商 群 编

6

RIYU XUEXI

商务印书馆

日 语 学 习

第 六 辑

商 群 编

商 务 印 书 馆 出 版

(北京王府井大街 36 号)

新华书店北京发行所发行

六 〇 三 厂 印 刷

统一书号: 9017 · 1096

1981 年 8 月第 1 版	开本 787×1092 1/32
1981 年 8 月 第 1 次印刷	字数 165 千
印数 32,000 册	印张 5 3/4

定价: 0.48 元

目 录

日语中谓语的附加成分与汉译(续).....	刘振瀛 (1)
谈日语的语态(续).....	尚永清 (15)
“目的”的表达方式.....	王 宏 (35)
谈日语的补语.....	顾明耀 (46)
关于“～ている”的我见.....	林孝彰 (50)
日语中的否定句和否定形	
——从日译汉谈起.....	陈耐轩 (54)
漫谈 形容词连用形有名词法吗.....	顾 人 (58)
日本文摘 ふれる和さわる.....	祁 顺 (63)
日语语中的通音及其规律.....	汪大捷 (66)
日中语文漫话〔日〕藤堂明保 著文 卞立强 李思敬 译	(73)
这些词你会辨别吗?	
きれいとつくしい.....	王新潮 (93)
あと、のち和うしろ.....	(94)
ら、など、等.....	刘卫民 (95)
およそ、だいたい、ほぼ.....	(99)
しばらく与ちょっと.....	杨维乔 (101)
よく与いつも.....	(103)
ついに与ようやく.....	(105)
“駆ける”和“走る”.....	傅永康 (107)
日语复合动词例解.....	溥 泉 (110)
日语科技词汇构词浅谈.....	孙明久 (121)
外来语点滴.....	田忠魁 (136)
谈谈接头词お和ごの使用.....	邓明玲 (139)
关于“見える”.....	王 藻 (141)

“耳”——用身体部位的惯用语(之一)·····	康 绪编译 (143)
小经验 把特殊五段动词集中记忆·····	张 泉 (148)
翻译通信(二)·····	卞立强 (149)
日语杂谈	
日语不确定数词的基准和汉译·····	李连鸿 (152)
日本敬语“御”(お、ご)·····	李活雄 (155)
这些人名你会读吗? ·····	刘 涛 (158)
请你想一想·····	三 思 (159)
文学常识 《万叶集》简介·····	文洁若 (160)
日本之窗	
巍巍富士山·····	陈应年 (162)
盆踊·····	何培忠 (169)
读者·作者·编者	
(林孝彰、辛培庚、毛延年、煦堂、广岑)·····	(165)
意味のもつ数字·····	米维阳 译注 (170)
水の旅·····	刘震宇 译注 (176)
日本公布《常用汉字表》·····	全祺龄 (182)
你知道他是谁吗? ·····	周 祺 (174)

日语中谓语附加成分与汉译

~~~~~ (续) ~~~~~

### (四) 用“て”引出的谓语附加成分

日语谓语附加成分中,有一组用“て”引出的附加成分。这一组附加成分,都是在谓语中心词之后,先附上“て”,然后再接上特定的一些用言(或接上以用言为中心构成的连语)。如てよい、ておく、てかまわない、ても始まらない之类。

日语中的て,属于接续助词,在通常情况下,て前后连接两个用言,并不构成谓语与谓语附加成分的关系。如:

- ①再会<sup>まいかい やくそく</sup>を約束し——て——別れる。

〔约定再会,然后分手。〕

- ②山<sup>たか</sup>が高く——て——険<sup>けわ</sup>しい。

〔这山又高又陡。〕

- ③驚<sup>おどろ</sup>い——て——たちあがる。

〔吃了一惊,站起来。〕

- ④水<sup>みづ</sup>が出——て——渡<sup>わた</sup>れない。

〔涨水了,渡不过去。〕

以上各例中,用“て”连接起来的前后两个用言,处于平等的地位,前后两个用言的词义,也均保持原来的词义不变,中间用“て”连接,分别表示先后顺序、并列、情态、原因等种种关系。但做为附加成分,用“て”引出的后一个用言,则往往离开原有的基本词义,另做新的解释。下边做一比较:

- ①水質<sup>すいしつ</sup>がきよくてよい。

〔水质干净、良好。〕

②大差なしと見てよい。

〔可看做无大差别。〕

③用意ができて(すぐ)始まる。

〔准备就绪,立即开始。〕

④いま行っても始まらない。

〔就是现在去也没用。〕

例①例③中的きよいとよい,できると始まる,都处于平等地位。よいと始まる均保持原有的词义;而例②例④中的てよい、て始まらない则均离开原有的词义。汉译时做为谓语的译法与做为谓语附加成分的译法,也完全不同。

〔てよい・ていい〕

①この時期までの彼は大体において歴史小説家と云ってよく、その作風も晩年とは一応別物と考えてよい。

〔他到此时为止,大体可说是个历史小说家,他的创作风格也大致可以认为和晚年(的风格)是另一回事。〕

②私はここで論の順序として二つ取り出すことができようと思う。すなわち一つは道德において、自己道德と假りに名づけていい。

〔我想在这里做为论断的步骤,可以提出两个问题来。即其一是关于道德,可以姑且称之为“自身道德”。〕

③それは社会全体についても、同じように考えられてよいのではないか。

〔那对于整个社会,恐怕也可以同样地考虑吧。〕

以上三例中的てよい或ていい,是一种表示可以、可能的语气,即“这样做可以”“这样做行得通”的意思。

〔てもよい・てもいい〕

①私は一度行ってやってもいい。

〔我为你去一次也行。〕

②すぐ東京へ帰って来ないか。それが一番いい。俺が行っても

いいが、帰る方が早い。

〔你能马上回东京来吗？如你回来最好不过。由我（到你那里）去也未尝不可，不过还是（你）回来，要快些。〕

③漁業協定は、できることなら、平和友好条約の前に成立させたいが、平和条約と平行して予備折衝してもよい。

〔渔业协定，如果可能，当然希望在和乎友好条约（签定）之前，使之谈妥，但也可与和平条约同时进行预备谈判。〕

以上三例中的てもよい或てもいい是一种允许与让步的表现。てよい与てもよい相较，前者只说明可以，并无让步的语感。这从例②与例③整个句子可以看得很清楚：例③的文意是，先是希望对方回来，然后做了一个让步的表示，说自己也可去，最后还是要对方回来。例④是，从愿望来说，希望与签定和平条约的同时谈妥渔业协定，但又做了个让步，与和平条约同时进行谈判也行。因此てもよい包含有退一步加以允许的意思。为了表示这种语感，汉译时，除了译为也可、也行之外，还可译为也未尝不可。

〔てよかった〕

①子供をいい学校に入れてよかったですね。

〔把孩子送进个好学校真是太好了。〕

②こんな新しい家が見つかってよかったねえ。

〔真幸运，找到了这样个新房子啊。〕

③君はその金を使わないで置いてよかった。

〔你没有把那宗款子花掉真是太好了。〕

以上三例中的てよかった是说话人感到满足的语气。这里需要注意的是，另有一个与てよかった相近似的ばよかった。如“傘を持って来ればよかった”（要是带伞来就好了）是一种后悔、惋惜的语气。这两者不可弄错。

〔てもよさそうなものだ〕

①その金を貸してくれてもよさそうなものだ。

〔你本来可以把那笔钱借给我的啊。〕

② もっとも分別<sup>ぶんべつ</sup>があってもよさそうなものだ。

〔本来应该再懂得点道理的啊。〕

③ 助<sup>たす</sup>けると言ってくれてもよさそうなものだ。

〔你本来应该对我说“我帮助你”的啊。〕

以上三例中的てもよさそうなものだ，也是从てもよい演变出来的，含有责怪、埋怨的语气。意谓“原可以（应该）如何如何，但却没有按这个意愿实现”。

〔てもいいじゃないか〕

① たまには顔<sup>かお</sup>を見せてもいいじゃないか。

〔偶而你也可以露露面嘛。〕

② 金<sup>かね</sup>なんかいくら使ってもいいじゃないか。

〔钱，花多少不是也没关系吗。〕

以上二例的てもいいじゃないか还可将“ても”换置为“たって”。这也是一种非难、责怪的语气，所以可译为也可以……吗、不是也没关系吗。

〔て(も)差<sup>さ</sup>支<sup>し</sup>えない〕

① 人体に害<sup>がい</sup>になるものに“クスリ”がある。病<sup>びよう</sup>氣<sup>き</sup>を治<sup>なお</sup>すための薬<sup>くすり</sup>である。薬品<sup>やくひん</sup>と云われるものは、すべて、害<sup>がい</sup>があると考<sup>かんが</sup>えて差<sup>さ</sup>支<sup>し</sup>えない。通常<sup>つうじょう</sup>は、その量<sup>りやう</sup>が少<sup>すく</sup>いから、全<sup>ぜん</sup>身<sup>しん</sup>的<sup>てき</sup>障<sup>しょう</sup>害<sup>がい</sup>を起<sup>おこ</sup>す前<sup>まえ</sup>に、肝<sup>かん</sup>臓<sup>ぞう</sup>や腎<sup>じん</sup>臓<sup>ぞう</sup>が片<sup>かた</sup>付<sup>つ</sup>けてくれる訳<sup>わけ</sup>で、多<sup>おほ</sup>くなると、スモン病<sup>びよう</sup>やミナマタ病<sup>びよう</sup>の様<sup>よう</sup>に取り返<sup>かえ</sup>しのつかないことになる。〕

〔对人体有害的东西当中，还有“药”这种东西。药本来是治病的，（可是）所谓药品这种东西，它的全部，不妨认为都是有害的。通常，由于量少，在未产生全身性的障害之前，就由肝脏或肾脏加以清除，如果量多了，就会产生 SMON 病或水俣病那样无法挽救的结果。〕

② 辞<sup>じ</sup>職<sup>しょく</sup>のことはそのままに置<sup>お</sup>いても差<sup>さ</sup>支<sup>し</sup>えない(差<sup>さ</sup>支<sup>し</sup>えあるまい)

〔辞职的问题不妨放一放。〕

③ 彼<sup>かのう</sup>は有<sup>り</sup>能<sup>さい</sup>な理<sup>か</sup>財<sup>しょう</sup>家<sup>しやう</sup>と稱<sup>しょう</sup>しても差<sup>さ</sup>支<sup>し</sup>えないが、人<sup>じん</sup>格<sup>かく</sup>者<sup>しや</sup>とは稱<sup>しょう</sup>

し難い。]

〔他，不妨称之为一个有才能的经济家，但很难称之为一个人格高尚者。〕

以上三例中的ても差支えない与てもいい相近，都是表示容许的语气。因此可以换置，但就其细微语气来说，后者强调的是可以，而前者强调的是“如此……不会有多大问题”，所以一般以译为不妨，更接近原来的语气。

〔て(も)かまわない〕

① 幾日いくにちで滞在たいざいなすってもかまいません。

〔您在这儿逗留几天也没关系。〕

② いくら食たべてもかまわないが、おなかを毀こわさないように気を付けてね。

〔你吃多少都可以，不过注意别吃坏了肚子。〕

以上三例中的て(も)かまわない，也是表示容许的语气。可以与前述て(も)いい、て(も)差支えない互相换置。汉译时，如把译语放在谓语中心词前，可译为“可以如何如何”，如把译语放在句末，可译为也没关系、也不妨事。

〔てはいけない・てはならない〕

① この川かわで泳およいではいけない。

〔不准在这条河里游泳。〕

② お前まえは向むかへ行いって居ようろ。用ようがないのに、来きちゃ(ては)いけないよ。

〔你上那边去！没事不准来！〕

③ 労働者ろうどうしやは、奴やつらが反革命はんかくめいの徒党とどうとして、自分たちのストライキに襲おそいかかった事を絶対ぜつたいに忘わすれてはならない。

〔工人们绝对不可忘记这些家伙做为一伙反革命匪徒来袭击我们罢工的事。〕

④ 今ひとつ科学技術かがくぎじゆつは資本しほんの利益りえきに奉仕ほうしすべきではなく、全人民ぜんじんの利益りえきに奉仕ほうしすべきものである。このかんだころを忘わすれて資本

の利益を急ぎすぎたところに、日本の公害の大きな原因があったことも忘れてはなるまいと思う。

〔再者，科学技术不应为资本家的利益服务，而是应为整个人民服务的。（造成）日本公害的一个重要原因在于忘掉了这个关键之点而一味着眼于资本家的利益。我想我们决不可忘记这个原因。〕

以上四例中的てはいけない、てはならない是一种表示禁止或不允许的语气，因此要译为不准、不许、不可。这两个附加成分意思相同，可以换用。在例④中将要てはならない改说成てはなるまい是为了添加一层意志的语气，故译为决不可。

〔ては駄目だ〕

①あぶないから、そんなことをしては駄目だ。

〔危険，不准干那种事。〕

②ねつ、あなた。ひとことを言わしてもらうけど、怒っては駄目（だ）よ。

〔我说，你也让我说上一句，可不准生气呀。〕

以上的ては駄目だ，也是表示禁止的语气与てはいけない可以换置。ては駄目だ的原意是“如果……可不行”但一般译为不准就行了。例②是女性用语，（妻子对丈夫说的话），だめだ中的だ一般要略去。

〔ては困る〕

①君のように、そう考え込んでしまっでは困る。

〔象你那样，总是沉思，可不行呀。〕

②約束を守ってくれなくては困ります。

〔你可不能不守信用啊。〕

上例中的ては困る上边接的用言考え込む、信用を守る都是说明对方的动作的，在此情况下，ては困る是由说话人的立场表明禁止或忠告的语气，困る是私が困る的意思。

以上各组例句中的て与系助词も、は结合，构成ても、ては，后边再附上某些特定的用言，构成谓语附加成分。这些附加成分，可归纳为允

许、不允许(禁止)两大类。

〔允许的表现〕

|                    |   |                               |
|--------------------|---|-------------------------------|
| 人に話し<br>谓语中心词(连用形) | { | でもいい。<br>ても差支えない。<br>てもかまわない。 |
|--------------------|---|-------------------------------|

〔不允许(禁止)的表现〕

|                    |   |                            |
|--------------------|---|----------------------------|
| 人に話し<br>谓语中心词(连用形) | { | てはいけない。<br>ては駄目だ。<br>ては困る。 |
|--------------------|---|----------------------------|

由此可以看出,用ても引出的附加成分,与谓语中心词是一种放任、顺应的关系,而用ては引出的附加成分,与谓语中心词是一种拘束、反换的关系。

〔ても始まらない〕

① <sup>いま</sup>今となってそんなこと言っても<sup>はじ</sup>始まらない。

〔到了现在,那种事就用不着说了。〕

② そんな人と議論しても<sup>はじ</sup>始まらない。

〔和那种人议论没用。〕

③ いくら泣いても<sup>はじ</sup>始まらない。

〔不管怎么哭也无济于事。〕

④ こうなってしまうては、もう悔いても<sup>はじ</sup>始まらぬことだ。

〔既然到了这步田地,就是悔恨也不顶用了。〕

⑤ <sup>いま</sup>今さら<sup>かれ</sup>彼を<sup>うら</sup>恨んでも<sup>はじ</sup>始まらないことだった。

〔现在再来恨他也没有什么用了。〕

以上五例中的ても始まらない也是一种劝告与禁止的语气。在汉译时,固然可以译为没用、有什么用、也不顶用、无济于事这类“劝告对方不要如何”的词语,但也可以译为副词性的词语不必、用不着、别再之类的字样,放在谓语中心词之前。例④⑤,在ても始まらない之后,又添附上ことだ,以增加一种断定的语气,可以把它看成是一个总的谓语附加成分。

〔てならない〕

①私は総理がいまなお温かい目でわれわれをじっと見守っているように思われてならない。

〔我总觉得总理现在还在用慈祥的目光注视着我们。〕

②私は、誰か尋ねてくる人があるような気がしてならない。

〔我总觉得好象有谁来看望我。〕

以上二例中的てならない，与前边的てはならない不是一回事。てはならない已如前述，表示禁止。てならない一般都接在表示感情、感觉之类的谓语中心词之下，表示“深深觉得”“深深感到”。因此，这个谓语附加成分，除了与上例思われる、気がする这类表示感觉的词相接外，还经常与表示感情的形容词相接，如“嬉しくてならない”（非常高兴）“悲しくてならない”（十分悲痛）。在处理てならない的汉译时，为了表示感觉之深，从程度说，是“深深觉得”；从时间说，是“不断觉得”“经常觉得”，这里采取了一种折衷的译法，译为“总觉得如何如何”。

〔て堪まらない〕

①あくる日、目が覚めると、体中痛くてたまらない。

〔第二天醒来，周身痛得很（痛得受不了）〕

②僕はこの矛盾を解きほぐして見たくなくて堪まらない。

〔我非常想解开这个矛盾。〕

③彼女は、なんでもないことが面白く、おかしくてたまらない  
——そんな年頃だった。

〔她正是这样个年龄——对于一点小事都感到有趣得很的时候。〕

上例中的てたまらない与上述てならない大致相同，也是表示程度之甚的。它的原来语感是“……得不得了”因此根据情况可译为得很或非常。

〔てたまるものか〕

①そんなことがあってたまるものか。

〔怎么能有那种事？！〕

② そんなことで嚇<sup>おど</sup>かされて堪<sup>たま</sup>るものか。

〔怎么能<sup>おど</sup>为那种事所吓住呢?〕

③ このくらいで、へこたれて堪<sup>たま</sup>るものか。

〔就为这点(事),怎么能泄气哪?〕

④ 彼奴<sup>あいつ</sup>に助けを乞<sup>こ</sup>うて堪<sup>たま</sup>るものか。

〔我怎么能求那个家伙帮忙呢。〕

以上てたまるものは、以反問的形式,表示受不了的意思。汉译一般可译为怎么能……呢,或改为从正面表态决不能。这种表现,带有激愤的口吻,表示对某一事物可能性的打消。

〔て仕方がない〕

① その話<sup>はなし</sup>を聞いて、腹<sup>はら</sup>が立<sup>た</sup>って仕方がない。

〔听了那件事,(我)气得不得了〕

② この変<sup>へん</sup>な様子<sup>ようす</sup>を見ると、可笑<sup>おか</sup>しくて仕方がなかった。

〔看了这个奇妙的状况,觉得十分可笑。〕

③ この頃<sup>ころ</sup>、ビールが飲<sup>の</sup>みたくて仕方がない。

〔最近这几天,我非常想喝啤酒。〕

④ そのニュースが伝<sup>つた</sup>わってくると、私は涙<sup>なみだ</sup>が溢<sup>あふ</sup>れて仕方がなかった。

〔那个消息传来后,我不得<sup>あふ</sup>得热泪直流。〕

以上四例中的て仕方がない接在表示感情的谓语中心词之后,表示感情的强烈,故译为得不得了、十分、非常。例④是说明为感情激动而落泪,是强调强烈的感情发自内心,故可意译为不得<sup>あふ</sup>得。

〔てしかるべきだ〕

① 君は友人<sup>とも</sup>に謝<sup>あやま</sup>ってしかるべきだ。

〔你理当向朋友道歉。〕

② 彼の業績<sup>せいよく</sup>は再<sup>また</sup>評価<sup>ひやうか</sup>されてしかるべきである。

〔他的功绩理当予以再次评价。〕

③ わが国<sup>くに</sup>のような大きな国家<sup>こっか</sup>は、正規<sup>せいぎ</sup>の医療工場<sup>いりようこうじょう</sup>を持<sup>も</sup>ってしかるべきだ。

〔象我们这样的大国，理当有个正式的医疗工厂。〕

以上三例中的てしかるべきだ(である)，是表示“理所当然地应如何如何”，一般可简化为理当。

〔てはどう(だ)・てはいかがです〕

①君<sup>きみ</sup>の顔色<sup>かおいろ</sup>はよくない。診<sup>み</sup>てもらってはどうかね。

〔你的脸色不佳，要不要请大夫给看看?〕

②もっと丁寧<sup>ていねい</sup>に口<sup>くち</sup>を利<sup>き</sup>いてはどう。

〔你能不能说话更郑重些?〕

③すぐお帰<sup>かえ</sup>りになってはいかがです。

〔您可以不可以马上回去?〕

④課長<sup>かちょう</sup>はじき参<sup>まゐ</sup>りましょうから，しばらくお待<sup>まち</sup>ちになってはいかがです。

〔科长马上就来，您可不可以再等一小会儿?〕

以上四例中的てはどう(だ)、てはいかがです都是向对方商量、提议的语气，多用于会话当中。因此在汉译中为了保持在日常会话中的商量语气，不要译为怎么样，而以要不要、能不能、可以不可以这种译法为好。例②从文意来看，在商量之中，还含有责怪对方的口吻。

〔てほしい・してもらいたい・してもらいたいと思う〕

①今後は少し注<sup>ちゅう</sup>意<sup>い</sup>して欲<sup>ほ</sup>しい。(注<sup>ちゅう</sup>意<sup>い</sup>してもらいたい。)

〔今后希望你稍加注意。〕

②せめて君<sup>きみ</sup>にだけは，僕<sup>ぼく</sup>の気持<sup>きもち</sup>を了<sup>りょう</sup>解<sup>かい</sup>して欲<sup>ほ</sup>しいんだ。

〔至少希望你一个人能了解我的心情。〕

③暇<sup>ひま</sup>な時<sup>とき</sup>にはわたしの家<sup>うち</sup>へも遊<sup>あそ</sup>びに来<sup>き</sup>て欲<sup>ほ</sup>しいですね。〕

〔有空的时候，希望你也到我家来玩玩。〕

④「中国碑林拓本展」は，ぜひ多<sup>おほく</sup>くの都<sup>とし</sup>市<sup>かい</sup>で開<sup>ひら</sup>催<sup>さい</sup>してもらいたい。

〔“中国碑林拓本展览”，无论如何希望能在许多都市中举办。〕

⑤古<sup>ふる</sup>い中<sup>ちゅう</sup>国<sup>こく</sup>を知<sup>し</sup>っている人<sup>ひと</sup>も，戦<sup>いくさ</sup>後<sup>ご</sup>の若<sup>わか</sup>い人<sup>ひと</sup>も，でできるだけ多<sup>おほく</sup>の人<sup>ひと</sup>に魯<sup>ろ</sup>迅<sup>じん</sup>展<sup>てん</sup>を見<sup>み</sup>てもらいたいと思う。

〔了解旧中国の人也好、戦後の年轻人也好、希望能有尽可能多的人参观“鲁迅展览”。〕

上例中のてほしい、てもらいたい都是向对方提出希望的表现。て欲しい不包括敬让的受授关系，てもらいたい则含有敬让的受授关系。てもらいたい后边经常接上と思う，这是一种习惯的客气说法。汉译时不必将と思う译出。这个形式，在应酬性的会话当中，经常使用更加尊敬的敬语表现ていただきたいと思います。

下边讲一下在通常日本语法书中所说的て与几个补助动词结合起来的译法。如てくる、てゆく、てしまう、ておく。这些て与补助动词くる、ゆく等结合起来的表現，在日语中只是在从“词法”的角度赋予他们以补助动词的名称，实际它们在“句法”中的作用，正是我们这里所说的谓语附加成分。

〔てくる・てきた・てきている〕

①一雨ひとあめごとに春はるらしくなってくる。

〔每落一次雨就越发增添春意。〕

②仕事しごとをし過すぎて疲つかれてくる。

〔活儿干得过多了，开始累了。〕

③いろいろ風説ふうせつがだんだんひろ拡ひろまってきた。

〔种种的流言逐渐地越来越扩散起来了。〕

④このはば一世紀いつせいにも近い歳月ちか まいげつの経過けい かのうちに，日本にほんの社会しゃかいはめまぐるしく大おほきな変化へんかをしてきた。

〔在经过这将近一个世纪的岁月当中，日本社会不断在发生了令人目眩神迷的巨大变化。〕

⑤多年たねんの念願ねんがんであつた日中国交正常化にっちゅうこうじょうせいじやうかが達成たつせいされ，中国ちゅうごくに対する友好ゆうこう的な関心かんしんが大おほき盛もりあがってきている

〔多年来盼望的日中邦交正常化实现了，对中国的基于友好感情的关心，正在不断高涨起来。〕

⑥全世界ぜんせかいの人民じんみんは，かれらが侵略政策しんりよくせいさくを放棄ほうきすることはいえなないという、はっきりした認識にんしきをもってきている。

〔全世界人民正越来越具有清楚的认识：他们是不会放弃侵略政策的。〕

以上六例中的て来る・てきた・てきている的基本含义都是表示某种情况逐渐形成起来。因此在汉译时使用越发、开始……了、正在不断……起来，正越来越，都可以传达出原文的“由原来的微弱（不显著的、不存在的）状态，逐渐形成新的情势”这一基本语感。例①②使用基本形てくる，表示概念式的说法，例③④使用过去式てきた，表示对某一事实已经出现的回想。例⑤⑥利用存在式てきている，着重说明逐渐发展到现在的情况。

〔ていく（てゆく）・ていった・ていきたい〕

①このような国家機構に対抗する「民衆」の階級的構成も，資本主義の形成、発展にともない，国家機構に形態変化に対応しつつ，いちじるしく変わってゆく。

〔与这样的国家机构相对抗的“民众”的阶级构成，随着资本主义的形成与发展，一方面与国家机构的形态相对应，显著地不断发生变化。〕

②そのご、ある国は益々帝国主義の色を増し、他国を侵略し、さらに全世界を略奪しようという野心をいさくようになっていった。

〔后来，有的国家更加增添了帝国主义的色采，侵略别国，进而越来越怀有想要掠夺全世界的野心了。〕

③われわれは書道を通じて，いっそう中国との友好をすすめていきたい。

〔我们通过书法，希望将与中国的友好更加发展下去。〕

④今回の中国訪問は，単なる巡業ということだけでなく，友好の使者として，日中両国の友好をさらに深めることを目的に，十分精勵して，使命をまっとうしてゆきたい。

〔这次访华，不单是到各地去表演，而是做为友好的使者，以加深日中两国的友好为目的，希望能够充分做好工作，把任务完成

下去。]

以上四例でいく(てゆく)、ていった、ていきたい(てゆきたい)的基本词义でいく是表示事物不断发展下去。因此汉译时可译为不断、越来越或下去等字样。ていく与上文的てくる,都是表示发展趋向的,叫做趋向动词。其区别之处在于:てくる用在说明“事物由过去发展到现在”的趋向,而てゆく用在说明“事物今后将会不断发展下去”的趋向,用汉语来说明,一是“……起来”一是“……下去”。下边在同一句中同时使用这两种附加成分的句子,很能说明他们用法上的区别。

中日友好は今ですと発展してきた。今後もさらに発展してゆくであろう。

〔中日友好,过去一直是不断发展过来的,今后也将进一步发展下去。〕

〔てしまう〕

①こんなことをしたら、時計が壊れてしまう。

〔如果这么搞,表就会整个毁了。〕

②翌日は二人とも寝過してしまった。

〔第二天,两个人都完全睡过了头了。〕

③しまった事をした。ガスを消さないで出てきてしまった。

〔糟了,我没有关煤气就出来了。〕

④いわば近代黎明にひらめいた民主主義は、その本格的発展へ飛躍すべき直前に、にない手を求めえず空しく消えさってしまったのである。

〔可以说,闪耀着近代黎明的民主主义,在它需要向正式发展(阶段)进行飞跃的当儿,未能找到它的带头人,白白地自行消灭了。〕

以上四例中的てしまう,基本词义是表示情况的终了、完成。同时又含有意外、失败或惋惜的语气在内。例①例②含有“意料不到”的语气,汉译时为了加强这个语气,故译为“整个……了”或“完全……了”。例③例④含有惋惜的语气,在汉译中这两例子一般只能用“了”来表示。